

海洋プラスチックごみリサイクルの実証事業が 「防災・減災×サステナブル大賞 2025」 最優秀賞を受賞しました！

川崎市と株式会社レゾナック（本社：東京都港区）では、現在、紫外線や風雨による損傷や汚れ、海水影響による塩分濃度などの性状の安定性といった点から通常焼却されている海洋プラスチックについて、「かわさきプラスチック循環プロジェクト（愛称：かわプラ）」の取組の一つとして官民連携したリサイクル実証事業を実施しています。

この度、この取組が、資源循環に加え脱炭素にも寄与するものとして、一般社団法人減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災×サステナブル大賞 2025」において、実績や成果を評価する「スマーテスアワード」の「最優秀賞」を1月29日（水）に共同受賞しました。

1 防災・減災×サステナブル大賞とは

（一社）減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災におけるレジリエンス向上ならびに SDGs 関連の活動及び成果等」を表彰するもので、2021（令和3）年から始まり今回で5回目になります。

2 受賞件名

受賞名 防災・減災×サステナブル大賞 2025 スマーテスアワード 最優秀賞

受賞事業名 海洋プラスチックごみによる水素およびアンモニア利用の実証研究（共同）

受賞者 株式会社レゾナック、川崎市（共同受賞）

3 受賞理由

官民協力により、これまで再資源化の難しかった海洋プラスチックを利用価値の高い化学薬品やガスとして再資源化することで化石燃料の削減に貢献し、脱炭素にも寄与する。

また、レゾナック川崎事業所 KPR（川崎プラスチックリサイクル）は、企業・学校・公的機関など幅広く見学を受け入れ、普及活動も積極的に行っているなどの理由から選定されました。

4 実証事業の概要

目的：海洋プラスチックごみがレゾナックのケミカルリサイクル技術（ガス化）でリサイクル可能かを検証するもの。

期間：令和6年4月から令和7年3月まで

実施方法：川崎港の海面清掃により回収した海洋プラスチックについて、レゾナックがリサイクル及び評価検証を行う。



海面清掃の様子

5 レゾナック川崎事業所 KPR プラント及びケミカルリサイクル



レゾナック KPR プラント

所在地：川崎市川崎区扇町 5-1

概要：2003（平成 15）年から容器包装リサイクル法に基づく容器包装プラスチックを化学原料にリサイクルする「川崎プラスチックリサイクル（KPR）事業」を実施している。受け入れた容器包装プラスチックは高温でガス化して分子レベルまで分解し、水素と二酸化炭素へ転換、水素の一部は近隣プラントにて化学原料向けや水素ステーションにて燃料自動車向けに活用され、そのほかは主にアンモニア原料になり合成繊維、合成樹脂、化学肥料、薬品などに生まれ変わります。一方の二酸化炭素は大気中に放出することなくグループ会社でドライアイスや炭酸飲料、医療用炭酸ガス向けの原料に使用されるなど、資源循環を実現し持続可能な豊かな社会実現に向け活躍しています。

6 その他

かわさきプラスチック循環プロジェクト

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000139506.html>



川崎市 HP



【問合せ先】

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当：山田
電話 044-200-2557（直通）

【問合せ先】

（レゾナックに関すること）
株式会社レゾナック・ホールディングス
ブランド・コミュニケーション部 広報グループ
電話 03-6263-8002